

団体名 ボランティアたるみ

事業(行事)名

子育てサークル事業

どのように取り組みを進めたか、以下の設問に沿って記述してください。

①～⑥の枠は、自由にサイズ変更してください。

枠内の見出しも、自由に設定してください。

ただし2ページに収まるようにしてください。

<p>① 事業の中で、審査員のアドバイスをどのように活かしたか、具体的に記載してください</p> <p>参加者だけでなく、担い手となるボランティアを増やしていくようにというアドバイスを受けて、参加者へ積極的に声掛けした結果、3名の方が新たな仲間になりました。</p>
<p>② 実施内容や回数、金額、年齢、人数などを具体的な数字を交えて記載してください</p> <p>1. 実施内容 9月1日、11月1日、2月1日の日程で、遊びプログラムと子育て講座を実施しました。</p> <p>2. 参加人数 9月は5名、11月は18名、2月は20名が参加されました。</p> <p>3. 参加費 各回とも参加費は600円としました。</p>
<p>③ 地域福祉への効果を、対象人数や件数などを示しながら記載してください</p> <p>1. 得られた効果 子育て世代の方に、気軽に出入りできる場が提供できたことで、コロナ禍で増加した、無園児とその保護者が多数参加・交流することができました。</p> <p>2. 対象者と人数 子育て中の保護者が、のべ43名参加されました。子どもの人数を加えた各回の参加者人数は、9月が10名、11月が40名、2月が44名で、合計では94名でした。</p>
<p>④ 活動の対象となった人の声（アンケート結果）を記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒に参加しました。同世代のこどもと、安心して遊ぶ環境があり、安心して講師の方のお話を聞く子ができました。(40代女性) 対面で参加・交流できる、子どもや、子育て世代の地域コミュニティがなかったのですが、たまたまチラシとSNSを見つけ、参加しました。600円という参加費は、子どもの遊びプログラムと講座があると考え、参加しやすいと思いました。(30代女性)
<p>⑤ 助成終了後、今回の事業がどのように継続・展開するか記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が徐々に増えているため、引き続きSNSなどで情報を発信し、定期的開催していくことで、地域の方々に周知しコミュニティとして定着させていきたいと考えています。 講師を呼ぶ予算は、カンパを集め、参加者でフリーマーケットに出店・収入を得るなどして実施を継続する予定です。
<p>⑥ 区民へのありがとうメッセージ</p> <p>今回の助成で、のべ43世帯、100名近くのこどもと保護者に向けて、安心して交流できる場を提供することができました。今後は、赤い羽根共同募金に協力する側にもなれたらと思っています。ありがとうございました。</p>

【写真の提出について】

- 別添もしくは info@tarumi-csw.or.jp 宛てでデータを送付ください。
- 購入品はすべて、品物別に写真を撮影し、購入内容がわかるようにしてください
- 購入品を使用している場面の写真とともに提出してください。
- 上記とは別に、事業の様子がわかる記録写真を10点以上提出してください
- 提出された写真は、本会の公式HPや本助成の事例紹介で使用・公開します。

記入例

団体名 ボランティアたるみ

収 支 決 算 書

■収入

項 目	内 訳	金額(円)	助成金
助成金	明日に架ける『たるみ応援ハートブリッジ助成』	50,000	50,000
参加費	600円×のべ43名	25,800	
売 上			
自己資金		18	
寄 付			
合 計(a)		75,818	50,000

※本助成金は赤い羽根共同募金と善意銀行預託金を財源としています。自己資金や参加費等の活用を検討して下さい。

■支出

対象となる経費 消耗品、印刷費、通信費、使用料、備品費、保険料、手数料、修繕費、参加費
 対象とならない経費 人件費、運営費、茶菓代、水道光熱費、(それぞれの詳細はご案内を参照ください)

項 目	積算内訳	金額(円)	充当額
交通費	ボランティア交通費 バス@210×2×10回×3名 講師交通費@760×2×3回×1名	17,160	0
謝 金	講師謝金@10,000×3回×1名	30,000	30,000
消耗品	A4 コピー用紙 500枚@298、プロッキー@1280 模造紙@580	2,158	0
印刷費	チラシ印刷費@10×100枚×3回	3,000	3,000
通信費			
使用料	自治会館多目的室使用料@700×10回	7,000	7,000
備品費			
保険料	行事用保険@1,000×10回	10,000	10,000
手数料			
修繕費			
参加費			
その他			
対象外経費	お茶菓子代	6,500	
合 計(a)		75,818	50,000

記入例

自己評価シート

このシートは、団体の自己評価を行っていただき、助成後も活動を継続発展いただく参考にしていただくために実施するものです。各項目に3つの評価を設けていますので、できたものには○、できなかったものには×をつけてください。

○1つにつき1点として、各項目3点満点で採点の上、レーダーチャートに書き込み各項目を実線で結んでみてください。

自己評価の項目	評価の内容	点
(1) 地域課題解決・地域福祉への寄与度の評価	①申請時に設定した効果を得ることができましたか？	○ 3点中
	②申請時に設定した課題を解決することはできましたか？	○
	③地域の福祉の推進に寄与することができましたか？	○ 3点
(2) 費用対効果、経費・人員の妥当性の評価	④投じた費用に見合った事業内容でしたか？	○ 3点中
	⑤事業の目的を達成するために複数の見積もりをとるなど、費用の支出を適正に行いましたか？	○
	⑥助成金により期待した効果を上げることができましたか？	○ 3点
(3) 団体運営能力と事業遂行能力の評価	⑦団体の運営は適正になされていましたか？	○ 3点中
	⑧事業遂行に際し、問題発生を想定した体制づくりをしていましたか？	
	⑨取り組みをスムーズに遂行することができましたか？	○ 2点
(4) 財務的な評価	⑩収支のバランスを客観的にみて適正な処理ができましたか？	○ 3点中
	⑪この助成により団体の財務的課題は解決されましたか？	○
	⑫今回の助成の経験をもとに、他の助成制度に積極的に取り組むことができそうですか？	○ 3点
(5) 取り組みの結果に対する評価	⑬取り組みの結果、利用者（構成員）の満足度は向上しましたか？	○ 3点中
	⑭助成後も同様の事業を展開・発展し続けられそうですか？	○
	⑮第三者から何らかの評価が得られましたか？	

自己評価レーダーチャート

(1) 地域課題解決地域福祉への寄与度の評価

